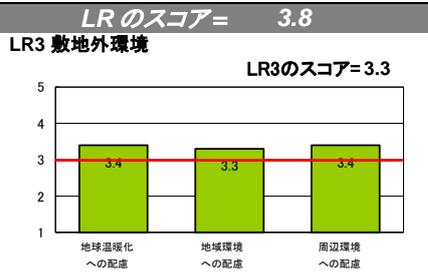
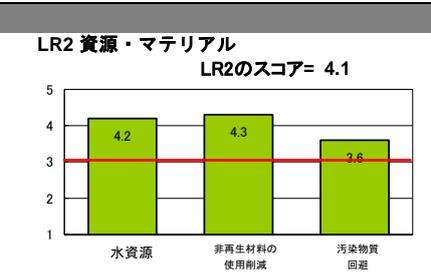
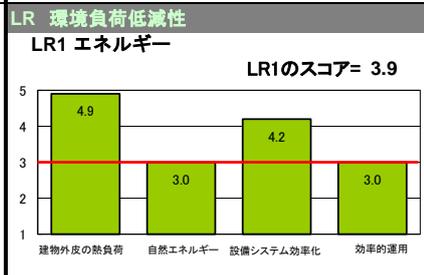
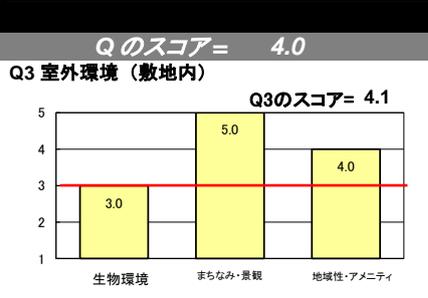
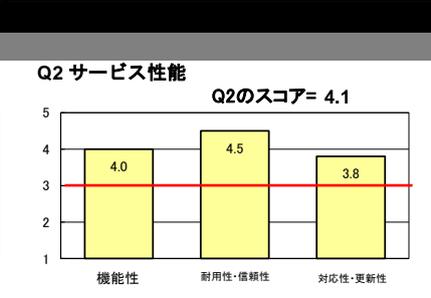
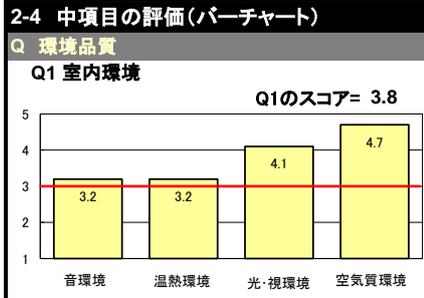
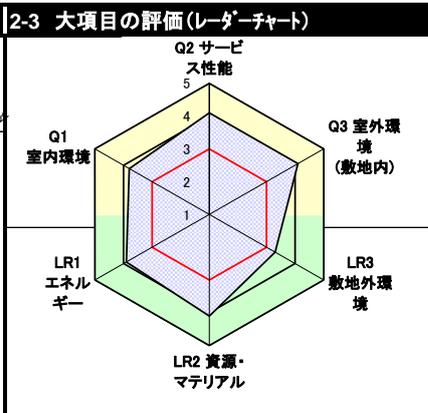
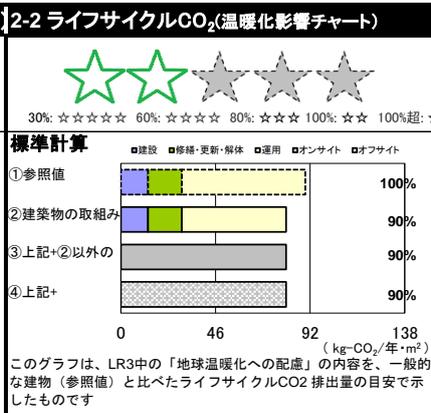
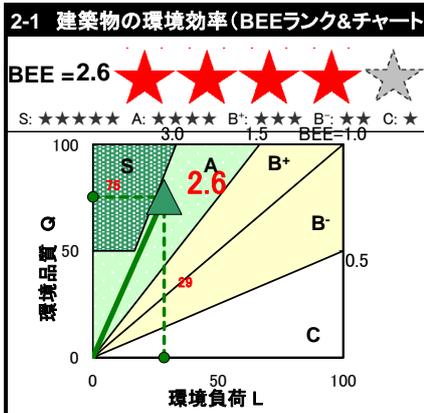


1-1 建物概要

建物名称	足柄上合同庁舎新本館
建設地	足柄上郡開成町吉田島2489番2
用途地域	第1種住居・準防火地域
地域区分	5地域
建物用途	事務所
竣工年	2017年12月 予定
敷地面積	17,702 m ²
建築面積	1,912 m ²
延床面積	8,933 m ²

階数	地上5F
構造	RC造
平均居住人員	278 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年7月1日
作成者	戸田建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
確認日	2016年7月28日
確認者	戸田建設株式会社横浜支店一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合 神奈川県西部、足柄上郡を担当する部署が入る合同庁舎。災害時には地域の防災拠点となる庁舎建築として建設費や維持管理費を抑えながら、執務空間は全面二重床とし将来の組織変動に対応して間仕切り位置を変更しやすくするなどフレキシビリティを確保する平面計画、また、免震構造を採用した構造計画とした。		その他 0
Q1 室内環境 居室の換気量は30m ³ /h人と計画するとともに、室内のCO ₂ 濃度を中央で監視できるシステムとし、室内環境へ配慮した計画とした。また、窓システムはLow-Eガラス+ブラインド及び庇を計画することで外皮性能を向上させ室内の温熱環境へ配慮した計画とした。	Q2 サービス性能 免震構造とし、建物の耐用性・信頼性のある計画とした。また、内装仕上材・換気ダクト、配管材料の更新間隔など耐用年数の長い材料を採用し、建物のサービス性能向上に配慮した計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 外装は維持管理のしやすい防水型複層塗材仕上げとし、色彩については田畑と住宅が入り混じりその先には山々が連なる周囲の風景になじむ色を計画した。
LR1 エネルギー 高効率照明を積極的に採用し、一次エネルギーの低減に配慮した計画。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器など省水型機器を積極的に採用した計画、また、雨水貯留槽を設け雑用水として再利用する計画とし、水資源の保護に配慮した計画とした。	LR3 敷地外環境 敷地内へ積極的に緑地を計画また、卓越風に対する見付面積及び隣棟間隔に配慮し、敷地外への熱的環境の低減に配慮した計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される